

平成29年度 経営支援事例報告書

【テ ー マ】

支援区分	経営改善
支援テーマ	顧客に合わせた客席の改善と販促の強化による売上増加計画支援

【企業の概要】

名 称	粉もんや 楽園	創 業 年	1997年
代 表 者	佐伯 明美	業 種	飲食業
商 工 会	琴浦町商工会	(取扱い商品等)	お好み焼き・焼きそば他

【支援の概要】

1. 相談の経緯

巡回支援先として、税務及び金融支援を行っており、新店舗を開店して2年が経過したが、売上が思うように伸びず、売上増加対策について相談を受けた。改善策として、まだ店舗の周知が不十分であり、来店客の増加につながる販促活動と店舗づくりを実施する必要があり、支援を開始した。

2. 経営課題

平成9年琴浦町赤碕の国道9号線沿いに「お好み焼き楽園」を創業。安定した経営を続けていたが、平成23年2月の山陰道開通により国道の交通量が減少。それに伴い来店客が減少傾向となる。平成27年6月に新たな商圈での店舗展開をするため、倉吉市役所前に移転開業した。

来店客の少ない時間帯の対策と立ち寄りやすい店舗づくりを行い、売上を増やす対策が必要となった。

3. 支援内容

現状分析（環境分析・顧客分析）を行い、市場の動向・地域環境の把握・顧客ニーズの把握等により、ランチタイムの日替わりメニューで平日の顧客を固定化するとともに、土日・祝祭日と平日のランチタイム以外の時間帯の来店客を増やすため、近隣に住む60代以上の女性（商圈内に最も多い年齢層）及びファミリー客を新規顧客のターゲットとした事業計画策定を行う。

小規模事業者持続化補助金の活用支援（販促活動の強化・カウンター改装）平成29年7月。

4. 支援の成果

- ・チラシによるPRで認知度がアップし、来店客数が実施前の月と比べ8%増加、カウンターを改装したことで、お客様から座りやすくなったと喜ばれており、今後の来店増加に期待が持てるようになった。直近では、新規顧客の獲得や既存顧客の固定化が図られ、売上は6%増加している。

5. 成果物等の写真

チラシによるPR



カウンター席の改装



6. 事業者の声

小規模事業者持続化補助金を活用し、チラシによるPR及びカウンターの改装を行いました。カウンターを利用されるお客様の評価も上々です。今後もDM、手配りのチラシ等継続して目標売上に向かって邁進します。これからも適切なアドバイスをよろしくお願いいたします。

【報告者】

センター	中部商工会産業支援センター	担当者名	市村 禎子
------	---------------	------	-------